

中 岳



熊本市民健康フェスティバル 第2回親睦ゴルフ大会



目

次

地域における歯科保健・医療・福祉の連携をめざして

..... 関 剛 一	1
熊本市歯科医師会代議員会	2
熊本市民健康フェスティバル	3
第2回親睦ゴルフ大会	4
九州八市歯科医師会役員連絡協議会 菅 原 洋	6
学 術 講 演 会	7
医療管理講演会	8
ビデオ研修会	9
社 保 説 明 会	10
第6回三歯会座談会	11
日本病院歯科口腔外科協議会	13
熊本市エイズ講演会	15
委員会だより	
学校歯科委員会	17
口腔衛生委員会	18
委員会紹介	
口腔衛生委員会	20
S t u d y	菊 川 明 彦 22
本 日 休 診	吉 良 直 衛 26
..... 岩 村 泰 行	27
趣味のコーナー	中 川 順 一 29
一 枚 の 写 真	32
スポーツの広場	34
新入会員紹介	35
会 務 報 告	36
協同組合だより	39
編 集 後 記	

地域における歯科保健・医療・福祉の 連携をめざして



副会長 関 剛 一

11月20日、新しい市長が選出された。今回の市長選は国政選挙並みの前例のない激選であり、それを制した三角保之新市長に本会としても心より敬意を示したいと共に21世紀に向けた地域歯科保健、福祉両面の活動に大いに期待したいと思います。

我々医療従事者は、地域住民に密着した医療を提供することを常に心がけ日々の診療に従事しているわけですが、真の医療とは保健と福祉の連携のもとに成り立つものと確信しております。それには地域行政とのかかわりが大であり、日頃より協調しながら歯科保健、福祉活動をすすめていく必要があると思っています。

厚生省及び日本歯科医師会は、現在8020運動を提唱しているところですが、その目標を達成するにはやはり生涯を通じて一貫した地域における歯科保健・医療・福祉の連携が不可欠であります。

従来より保健所における妊産婦及び乳幼児を対象とした歯科検診、歯科保健指導、学校保健法に基づく、小学校、中学校及び高等学校における歯科健診に加え昭和62年に老人保健事業第2次5ヶ年計画が開始され、40才以上を対象とした歯科健康教育、相談が実施されているところです。又在宅医療の推進が強化され、本会では、来るべき21世紀の超高齢化社会を迎えるに当たり、協力医の皆様のご協力をえて平成3年より熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業を実施し、平成5年よりデイサービスセンター「長寿の里」における歯科室を設置し、利用者に歯科医療を提供しながら地域における歯科保健、医療、福祉活動に努めており社会的評価は高いものがあります。

この様に保健所法、学校保健法に基づく歯科保健は確立され、高齢者に対する歯科保健、医療、福祉は充実されつつありますが、歯科疾患が急増する20才から40才にかけての成人に対する事業においてはまだ手薄の感が致します。それに加え各病院に入院中の患者に対する歯科診療及び老人施設等の入所者に対する歯科保健については事業として実施されていないのが実情です。これ等生涯を通じて空白の年代の歯科保健の充実を図るため現在本会に設置されている企業健診推進部会の充実及び歯科医療の谷間にある入院、入所者に対する歯科保健専門部会の設置が急務となっており、行政及び医師会等と協議を重ねながら各専門部会を設置すべく準備中でございます。

我々は良質な歯科医療を患者に提供するには地域に根ざした生涯を通じて一貫した歯科保健活動及び歯科福祉活動の充実、並びにこれ等を統合した歯科保健協議会の設置が必要であると確信してやみません。

平成6年度熊本市歯科医師会代議員会

中原日歯会長の参院選出馬に対して更なる支援を—

平成6年9月28日(水)午後7時30分より県歯会館2階会議室にて開催された。

中根会長の挨拶では中原日歯会長の参院選出馬に伴う支援協力の依頼、歯科医師会と政連との関係について、日歯が近々結論をだすであろうということ、また会館建設問題(近接土地購入可能か)等について述べられた。



中根会長の挨拶

1. 開 会
2. 会長挨拶 中根俊吾会長
3. 議長及び副議長選出
 議 長 田 中 宏先生
 副議長 宇治道孝先生
4. 議事録署名人選出
 坂本憲昭先生 中川順一先生
5. 報 告
 - 1) 会 務 報 告 菅原 洋 専務理事
 - 2) 庶 務 報 告 古賀 明 常務理事
 - 3) 会計現況報告 岡田 知久 常務理事
 - 4) 監 査 報 告 宇都宮啓一 監事
6. 議 事
 - 第1号議案
 平成5年度熊本市歯科医師会(一般会計)才
 入才出決算の承認を求むる件
 - 第2号議案

平成5年度熊本市歯科医師会(収益事業会
計)才入才出決算の承認を求むる件

第3号議案

平成5年度熊本市歯科医師共済会計才入才
出決算の承認を求むる件

第4号議案

平成5年度熊本市歯科医師会退職積立金会
計才入才出決算の承認を求むる件

第5号議案

平成5年度熊本市歯科医師会基本財産積立
金会計決算の承認を求むる件

第6号議案

平成5年度熊本市歯科医師会入会金会計決
算の承認を求むる件

第7号議案

平成5年度在宅歯科保健推進事業(別途会
計)才入才出決算書

第8号議案

平成5年度長寿の里歯科診療所会計(別途
会計)才入才出決算書

第9号議案

熊本市歯科医師会裁定審議・選挙管理委員
会委員の承認を求むる件

7. 協 議

会館建設問題について、他

8. 閉 会

10月15日(土)・16日(日)の両日、熊本市、医専連等の主催による平成6年度健康フェスティバルが、熊本市総合体育館・青年会館ホールで開催されました。15日午前9時30分より開会式が始まり、実行委員長の田尻熊本市長をはじめ来賓の方々の挨拶の後、中根熊本市歯科医師会長らによるテープカットが行われました。開場とともにどのコーナーも開会式前より詰めかけていた人々で、にぎわいをみせていた。

今年度のテーマは「これからの健康、21世紀に向かって」であり、サブテーマは「次の時代を担う子どもたちの健康」ということで、より予防医学に重きをおいた姿勢をとっています。今回も様々なコーナーが設けられ、リハビリや在宅ケアのコーナー、その他健康相談や検診コーナーなどが目白押しでした。参加した市民も多く、ある人は家族連れで和気藹々と楽しんでいるようでした。今回の会場設定では、歯科関係が比較的出入口に近かったせいか、このコーナーに訪れる市民も多く、例年以上に参加者の多いフェスティバルであったように感じられました。ちなみに歯科を訪れた参加者はおよそ560名でした。

当の歯科のコーナーにおいては、例年のように歯科医師会によって相談コーナーが設けられ、特に今回から「生涯歯科検診カード」を作成し、歯科に対する意識の向上に努める試みを行ってみました。これによって一人でも多くの市民が毎年継続的に、このフェスティバルを通じて自分の歯の健康維持に積極的になってもらえれば幸いであると考えています。

相談の内容に関しては、心配や苦情など様々な意見が聞かれ、特に自分自身の治療内容に対する理解が意外と十分でないことが多いように見受けられ、改めて我々歯科医師による診療に際しての説明の重要性が指摘されました。

その他、位相差顕微鏡やファイバースコープを利用した口腔内検査を行い、視覚的にアピールすることでより関心を集めたようでした。ま

た歯科衛生士会による歯磨きのコーナーにも多くの市民が集まり、熱心に指導を受けられていた。さらに歯科技工士のコーナーでは歯牙模型の展示のほかに、石膏による手型作りのコーナーがあり、特に子どもたちの人気が集中していたようでした。



技工士会による手型づくり

また在宅ケアのコーナーでは歯科医師会、歯科衛生士会による訪問歯科診療の説明などがあり、この分野も今後ますますの充実が見込まれます。

歯科以外のコーナーも非常に充実しており、体に関する様々な相談コーナーの他に検査コーナーも本格的で、こちらも多くの市民が詰めかけており、我々にとっても参考になることが多い充実した2日間でした。

又、10月16日には「学童期・思春期の肥満」をテーマに、青年会館ホールにてシンポジウムが開かれました。矢毛石理事が「咬むことの大切さ」について講演され、一般聴衆からも咬合と顎の発育の関連についてなど、活発な意見が出されました。午後4時30分より閉会式が行われ、中根会長の万歳三唱にて会は成功裏の内に閉会したことを報告します。

(口腔衛生委員 与儀実彦、山部耕一郎)

第2回 親睦ゴルフ大会

第2回熊本市歯科医師会親睦ゴルフ大会が去る11月3日(水)、阿蘇東急ゴルフコースにおいて65名(オブザーバー8名)の参加のもと開催されました。



中根会長による始球式

昨年は支部対抗の団体戦及び個人戦でしたが、今年は個人戦のみの競技となりました。中根会長の挨拶、斉藤厚生委員長の競技説明の後、OUT、INに分かれ、それぞれ中根会長、関副会長の始球式で競技(ダブルペリア方式)が始まりました。ゴルフ場関係者の話によれば、今日のグリーンは少し難しいと言うことで、日頃の実力を発揮できない先生も多数おられたようでした。また65名という参加の為か、最終組が競技を終了したのは日没寸前となりました。

した。

会場をクラブハウスに移し、結果発表及び表彰が行なわれました。今年は会長賞をはじめ、多数の豪華賞品が用意され、非常に盛り上った表彰式となりました。外はかなり暗くなり賞品を手に先生方は急いで帰路につかれました。

最後に、今年もスコアの集計に多少時間がかかり、スタートの早い組の先生方には1時間以上もお待たせしましたが、最後(表彰式)まで残っていただき、誠にありがとうございました。

上位10名とB.B.敢闘賞

			O	I	G	H	N
優勝(会長賞)	松本 真典	42	46	88	13	75	
2位(副会長賞)	谷川 貞男	47	39	86	10.8	75.2	
3位(専務賞)	津田 勝久	46	43	89	13	76	
4位	古賀 明	49	37	86	9.7	76.3	
5位	千場 敏昭	46	43	89	11.9	77.1	
6位	篠原 威雄	46	42	88	10.8	77.2	
7位	大嶋 健一	42	42	84	6.5	77.5	
8位	松本 光示	39	44	83	5.4	77.6	
9位	田中 弥興	46	49	95	17.3	77.7	
10位	内田 隆	47	47	94	16.2	77.8	
ブービー賞	蔵田 幸一	68	62	130	36	94	
敢闘賞	田中 宏	100	85	185	36	149	
ベストグロス賞	松本 光示	39	44	83			

ドラコン賞

渡辺 洋

ニアピン賞

内田 隆

特別賞

小田 和人

三隅 房邦

大嶋 健一

内田 隆

松本 謙一

三隅 房邦



ゴルフ大会でのワンショット



わしがルールブックだ!!



ワァ…始球式でチョロ



これが平成の大砲だ!!



俺 何位だろか?



わしも捨てたもんじゃなかばい



ワァ 俺が優勝や?!ウソだろう

(厚生委員 有田 俊昭)

九州八市歯科医師会 役員連絡協議会



平成6年度九州八市歯科医師会役員連絡協議会が、10月21日(金)午後4時より、佐賀市東急イン会議室で佐賀市緒方専務の司会により始まり、議長に佐賀市の下平会長、副議長に長崎市の田中会長を選出しました。各市からの提出協議題は別に掲載しております。今回の協議題の中の、“開業、入会の問題”で各市とも同じ悩みをかかえ、佐賀・長崎の強さと、福岡市の自由が目につきました。注目すべきは、公衆衛生活動の一環として「成人歯科健診」(那覇市、浦添市)、又「すこやか歯科健診」(市国保加入者への無料健診が佐賀市、宮崎市)で現在実施され、宮崎市の1ヶ月1000人の健診にはおどろきました。本会からは、夜間歯科救急診療業務についてお尋ねしましたが、鹿児島市のみが夜間業務を行っており、行政より多額の補助金を獲得し平日夜間業務も輪番で取り組んでいるとの回答がありました。現在、本会でも夜間診療(7時以降)が会員の中でも議論を呼んでいる事柄なので、平日夜間業務についても検討する価値があると思われる。

会 名	提 出 協 議 題
長崎市 歯科医師会	1. 各市における各担当理事数並びに各委員会の委員の総数とその年齢層について 2. 開業・入会の手続について
熊本市 歯科医師会	1. 平日夜間、祭日夜間、日曜夜間の救急診療業務を行われていますか。実施されている歯科医師会は委託料、契約書等について、内容をお知らせ下さい。
鹿児島市 歯科医師会	1. 公衆衛生活動について各歯会ではどのような取組をしておられるかお聞かせ下さい。 1) 行政とかかわりのある公衆衛生活動について 2) 歯会独自の公衆衛生活動について
宮崎市郡 東諸県郡 歯科医師会	1. 医療管理委員会の最近の活動について
南部地区 歯科医師会 (沖縄)	1. 保健所法改正に伴う(母子保健事業)3才児健診の対処方について各市町村保健所との協議会開催などありましたら、その構成委員並びに今後の指針など協議内容について御教示下さい。
福岡市 歯科医師会	1. 歯科訪問診療について貴会として何か対応されていますか。
大分市 歯科医師会	1. 各市における顧問弁護士及び顧問税理士の雇用状況及び各顧問の顧問料、会員の利用状況について
佐賀市 歯科医師会	1. 国公立病院の歯科医師の入会と身分について

(専務理事 菅原 洋)

学術講演会

歯の寿命を永くするGTR法の応用

去る平成6年7月16日(土)午後2時30分より熊本県歯科医師会館3Fホールにて東京歯科大学第2保存科教授山田了先生を講師にお迎えして上記表題にて熊本市歯科医師会学術委員会主催の講演会が開かれた。



従来の歯周治療の考えは疾患に陥った組織を除去し、それ以上の進行を防ぎながら、残った組織を有効に利用していこうというものであったが、GTR法は一度疾患によって

失った組織を再び正常な組織で修復し、再構築する新しい発想で近年注目を集めている。

GTRの膜は、膜の内外での栄養供給は十分に行われるが、細胞の交換は行われないように加工されており、歯肉縁部より上皮が深部侵入するのを阻止する。このため防御機能の比較的に弱い上皮性付着ではなく、炎症因子に対して高い防御機能を有するセメント質を伴った結合組織性付着(新付着)が獲得できる。

GTR法の適応範囲には限界がある。その適応として最初に試みる症例は、

- ① Class II 根分岐部病変
- ② 2ないし3壁性骨欠損部位
- ③ 十分な付着歯肉 ($\geq 4 \sim 5$ mm)

を有する部位があげられる。その成功のポイントは病変の形態に対して保護膜の応用が容易であること、病変を満たすに十分な歯根膜組織が

存在していること、十分な付着歯肉が存在していることがあげられる。

経験の必要な症例としては、

- ① Class III 根分岐部病変
- ② 上顎前歯部
- ③ 細い隣接部の骨欠損部位
- ④ 付着歯肉の少ない部位

があげられる。

その禁忌症としては

- ① 歯肉弁を損傷した部位
- ② 保護膜が多数必要な骨欠損部
- ③ 歯根膜組織が極度に減少している部位
- ④ 水平性骨欠損部

があげられる。

以上数多くの基礎的動物実験症例と臨床症例をもとに説明された。

この他、講演ではGTR法の術式の紹介、GTR法による骨誘導、破折歯牙への応用、さらに今後の展望として2回の術式を1回にすることのできる吸収性の膜が開発されつつあり、一部では使われ始めているが、まだ問題点も多いことなど盛りだくさんの内容であった。

質疑応答も活発に行われ、GTR法の現在の状況を知る上で有意義な講演会であった。

(学術委員 菊川 明彦)

医療管理講演会

医療紛争とインフォームド・コンセント

去る10月26日(水)午後7時30分より県歯会館3Fにおいて「歯科における医事紛争の傾向と対策」という演題で、安田火災海上保険の福田浩明氏、「最近増加傾向にある熊本県下における医療苦情とインフォームド・コンセント」という演題で、県歯科医師会医療対策委員会前野正春理事をお招きして開催された。

中根会長のマスコミの過剰な反応に対しては、自戒の念をもって医療に当たらねばならぬという挨拶から始まった。福田氏の講演では、難か

しい話をわかり易く、ユーモアを交えながら次の7つのことを説明された。1) 医療事故と医療過誤、2) 医療過誤の法的責任、3) 医療事故紛争

の現状、4) 医療事故紛争解決のプロセス、5) 歯科医療事故の傾向、6) 医療事故が起きたら、7) 歯科医療事故例、この中でも強調されたのが、もし医療トラブルが起こったら相手に対しては誠意をもって対応すること、また1人で悩まないで必ず相談をして欲しいということであった。

前野理事の講演は、実際御自身の診療所に苦情相談が廻されて大変御苦勞されているので生の迫力が感じられた。熊本県内の医療苦情に関

して、診療科ごとでは補綴関連が最も多く、次いで口腔外科関連、小児歯科関連、保存関連と続いている。苦情の内訳を内容で分類してみると、診療

内容に関してと金銭的問題の2つで全体の80%以上を占めている。又、最近では、新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミで知識を得ているせいか、診療所及び診療スタッフの衛生問題、感染問題に対する対応についての問い合わせや苦情が増加してきている。暴力団に対しては毅然たる態度で臨んで欲しいとのことである。患者との最初の対応次第では問題にならなかった場合が多く、インフォームド・コンセントの不足が目立っている。今後の医療苦情、医事紛争の防止の為には、我々歯科医師自身の努力が必要であるという言葉で締め括られた。

(医療管理委員 西田 宗剛)

安田火災海上保険の福田浩明氏



県歯医療対策委員会前野正春理事



歯周組織検査について

9月20日(火) 熊本市歯科医師会学術委員会主催の第17回ビデオ研修会が、熊本県歯科医師会館ホールで行われました。

今回の研修会は「歯周組織検査について」というテーマで、学術委員の松永久先生が解説された。教材ビデオはGCビデオライブラリーシリーズ中の「プロービングのすすめ」(鈴木文雄、船橋市開業)が用いられました。

まず、当ビデオが放映され、プロービング検査で何をみるかが明らかにされた。

1) ポケットの深さを計る。

レントゲン写真を併用すれば炎症波及の深さを知ることができる。ウォーキングメジャメント法を用いれば歯石の沈着状況や根面の荒さが明らかになる。

2) プロービング時の出血の有無。

プラークコントロールレコードだけでは知りえない患者さんのブラッシング協力度がわかる。プローブ挿入後10秒から30秒たっても出血しないときは良好である。

3) 付着歯肉の幅を知ることができる。

4) TBIの効果を確認できる。

プロービング結果のチャート記入方法としては、歯科医師が読みあげアシスタントが記録するようにする。プロービング検査の結果だけを見るのではなく、その他の診査項目と合わせ読みすれば有効な情報となる。また、術前と術後のデータが比較検討しやすいようなチャートを使うべきである。

このような有効な歯周治療が行われた場合とそれがない場合では、一年後に歯を失う確率は、前者が5%、後者が60%と歯周治療の有効性は実証されている。

続いて、松永先生の解説に入り、スライドを



交えてさらに詳細に行われた。

- 1) 健康な歯肉について
- 2) 生物学的幅径について

3) 歯周組織検査について

問診、全身の状態、口腔内の状態、研究用模型、レントゲン写真、写真、スライド等

4) 松永歯科医院で用いている衛生士口腔衛生カルテ

5) 口腔内診の診査の七つ道具

6) プラークコントロールレコード

プロービングで何をみるか

以前はポケットの深さを調べていたが、現在では炎症の有無と波及の程度をみるのを目的とするようになっている。

歯肉出血

同じ歯肉からの出血でもGingival Bleedingは患者自らが管理すべき領分であり、Probing Bleedingはスケーリングするなど術者が管理すべき領分である。

根分岐部病変

分岐部用のファーケーションプローブを用い診査しなければならない。上顎、下顎で28歯あれば、根分岐部は24箇所ある。

最後に熊本市歯科医師会社保担当理事の小田和人先生の歯周病治療に関する保険診療について解説された。

(学術委員 清村 正弥)

社 保 説 明 会

10月18日(火)、21日(金)の両日にわたり午後7時30分より県歯会館3Fホールにおいて、県歯社保担当理事の寺脇先生をお招きし、10月より改正となった社会保険診療報酬の説明と4月、6月にすでに改正している所の疑問点に対する説明会が合わせて開催された。

説明会は稲葉先生の司会で進行し、先ず市歯科医師会会長の中根俊吾先生より、きびしい環境の中で在宅医療での改正がおもである今回の現状を見れば待つ診療から出ていく診療に比重を移し、言いかえれば攻めの診療に目を向けていかなければならないようだと挨拶された。

県歯社保委員会寺脇博理事



続いて寺脇先生の説明に移った。厚生省は医療費の10%削減を近い将来予定しており、我われに対するしめつけがますます厳しいものになるであろうと頭の痛くなる話から始まり、レセプト審査会でのレセプトチェックのシステムや審査の状況など我われの知らない興味深い話をまじえながらレセプト返戻、減点、再審査、再審査請求などの説明や注意点をわかりやすく話され、10月改正の説明に移った。概要は次のとおりである。

(1) 歯科訪問診療

往診料 550 点→廃止

在宅患者訪問診療料 680 点→廃止

一本化

1) 歯科訪問診療 (I)

一日につき 620 点 (居宅、施設 1 人)

歯科訪問診療 (II)

一日につき 430 点 (施設 3 人まで)

2) 歯科訪問診療時の特掲技術料加算

50/100 加算

点数早見表の () 内の点数

3) 切削器具加算 300 点適用拡大

各患者ごとに切削器具加算を算定

(2) 訪問歯科衛生指導

在宅患者訪問看護・指導料→廃止

訪問歯科衛生指導料

一日につき 250 点 (月 4 回を限度)

衛生士のみが訪問した場合、再診料は算定できず、実日数は 0

(3) 老人保健における在宅医療の改正

1) 寝たきり老人訪問診療料 700 点→廃止

歯科訪問診療 (I) 620 点、(II) 430 点で算定

2) 寝たきり老人訪問看護・指導料

500・450 点→廃止

訪問歯科衛生指導料 250 点で算定

最後に多数の先生方の質問に県社保委員長の原賀先生が解答され説明会を終了した。

(社保委員 鬼塚 友文)

第6回 三歯会座談会

第6回目の三歯会が、10月30日(金) 熊本県歯科医師会館2F会議室において開催された。

出席者は技工士会より上中会長、大村学術担当理事、衛生士会より本田副会長、福本専務理事、江口広報担当理事、市歯科医師会は医療管理委員会より赤城理事、他7名、広報委員会より蔵田理事、他2名、口腔衛生委員会より矢毛石理事であった。



まず、司会の藤波医療管理委員会委員長より、広報委員会から医療管理委員会へ当座談会の主催が移管されたことの説明と挨拶で始まった。

はじめに技工士会から現在の活動として、学術面では年2回ほどの卒後研修会、また、会員によるケースプレゼンテーション、各種講演会をおこなっている。また、労務関係では技工所の経営実態調査、勤務者の現状や待遇などについて調査を行なっているとのこと。厚生部門においては、サマーキャンプ、ボウリング、ソフトボール大会、新年会などを行い会員同志の親睦をより深いものにしたいと思い活動している。さらに本年度は、とくに重点課題として時間短縮についての検討も行なっている。就業時間が短いところでも10時間ぐらい働いているので、

技術的、経済的な面で企業努力をし、まずは1時間短縮を目標に指導を行なう予定でいる。これについては技工料金の問題も関連してくると思われるので検討をお願いしたいとのことだった。

また、感染問題については職業上、直接患者さんの口腔内に触れるわけではなく、模型を相手に仕事をするのでそこに病原菌があるということに対して非常に意識が薄いように思われる。そこで本年、医師会にお願いし肝炎を中心に講演会を開催し、これに関してマニュアル化して会員の意識付けをしていく予定でいるが、技工指示書に感染性疾患の情報の記載について検討してほしいとの案がでた。



技工士会の上中会長(中央)

衛生士会からは、活動報告としては厚生大臣指定講習会を平成7年度まで行なう予定でいる。また、生涯研修制度に基づく研修会もおこなっている。

組織としては、会員数約800名、県下13支部に分け熊本市は東西南北の4支部に分けている。事業としては、現在歯科医師会と共同で企業検診、虫歯予防週間などの活動を行ってきている。本年度は、さらに企業検診も各支部単位で活動しており、その把握が十分出来るようになった。

要望としては、感染予防におけるグローブの着用はどの様になっているのか、また、県歯科医師会の事業の一環である健康診断を受けさせてほしいとのこと。またその費用についても検討をお願いしたいということだった。



以上、技工士会、衛生士会から活動報告と要望が出された。要望について市歯科医師会の赤城理事より以下のごとく説明がなされた。

「感染問題については、ここ数年来学術面において各種講演会など通じて会員への啓蒙はされ

てきた。今後も継続して行なっていく予定である。技工士会、衛生士会においても感染性疾患の十分な理解を深め、不用意に怖がったりせず、適切な対応ができるように会員の方々への啓蒙をお願いしたい。健康診断については、医療管理委員会においても従業員の受診を促してきた。その結果、近年は受診数の増加傾向にあり、この合理化のためには、日数、方法に付いて再検討が必要であり、現在検討中である。また、その費用面については、各医院の事情もあり会として指導することは出来ない。それでも国保などよりの補助もあるので啓蒙していても良いと思うが、一応理事会において検討する。技工士会より出された技工指示書への感染性疾患の記載については、患者のプライバシーの問題もあるのでその方法論に関しては理事会で検討する」とのことだった。

最後に衛生士会より、要望事項を出すだけでなく、その結果報告もできるように年2回の開催にしてはどうかという意見が出され、全員一致で前向きに検討するという事で会を終了した。

この様に三つの団体が本音で話し合い、一つ一つの問題を解決していくことにより団結することは、将来、医療事故、訴訟、人材確保などの点で歯科界の発展に多大な貢献を果たすのではないかとわれ大いに期待するところである。

(医療管理委員 田中 弥興)

日本病院歯科口腔外科協議会 九州集談会開催！

去る平成6年9月10日(土)午前9時より、熊本県立劇場地下大会議室で日本病院歯科口腔外科協議会(日病歯口外協)九州集談会の設立総会および第1回大会が開催されました。日病歯口外協は、高齢社会への歯科界の対応、歯科医療のニーズの多様化などへの背景の下に発足した会です。年毎に所属機関、会員も増加し(平成6年9月末日現在315名)、加えて各地方においてもブロック会議が設立され、積極的な活動がなされています。九州地区でも、数年前より設立の気運が盛り上がり、今回発足の運びとなりました。

まず設立総会が行なわれ、会則、役員などが協議され、9条からなる会則案が満場一致で採択されました。さらに役員として、会長に伊東隆利先生(医療法人伊東会伊東歯科医院院長、熊本)、世話役に増田敏雄先生(鹿児島市立病院歯科口腔外科部長、鹿児島)、原田薫先生(新日本製鉄八幡製鉄所病院歯科口腔外科部長、福岡)、川口辰彦が選出されました。続いて来賓として、鬼塚義行先生(熊本県歯科医師会会長)、實田博先生(日本病院歯科口腔外科協議会理事長)から御祝辞を賜りました。

引き続き特別講演(Ⅰ)で、まず三井記念病院歯科口腔外科部長 實田博先生より「これからの歯科医療像」-病院歯科の立場から-の演題で講演を賜りました。全国約1000施設の

病院歯科の実情をいくつかの例をとりあげられて詳細に説明されたあと、それぞれの地区での地域性や病院の規模および特殊性によって多様な形態、内容をとりうべきことを述べられました。そして、今後、病院歯科が目標としなければならない具体的な項目として、1. 顎口腔外科に対する積極的な取り組み、2. 重症有病者に対する積極的歯科治療、3. 病院歯科の個性、4. 包括歯科医療の実践、5. 質の高い歯科医療の維持による研修機関としての存在などを提言されました。



特別講演 石井拓男先生

特別講演(Ⅱ)では、厚生省保険局歯科医療管理官の石井拓男先生より「これからの歯科医療像」の演題で講演を賜りました。先生ご自身の厚生省での経験もまじえられ、歯科医師はそれぞれの立場において、等身大で歯科医療像

の現状を把握する努力と、日常的に流れてくる情報を積極的、正確にキャッチすることが今後ますます必要になってくるであろうと述べられ、さらに、医療全体の中で歯科医療は決してマイナ一部分ではないことを、たくさんの資料を提示され力説されました。さらに、これからの歯科医療における地域保健の重要性、とくに成人歯科検診は歯科界全体で取り組むべき大切な課題であり、その意味でも熊本市は全国的にも最も実績の挙がっている地域であり、「熊本は熱心である」という評価がなされているということを述べられました。さらに、診療報酬の見直しの経緯について説明され、中央社会保険医療協議会歯科小委員会で、膨大な資料の詳細な解析をもとに、経済界、労働界、医療界などの第一人者が集い検討を重ねた結果をもとに行なわれていることを説明されました。今までの論議の中で、歯科における技術料評価の在り方で、1) 歯周疾患の診療について、2) 小児歯科診療について、3) 在宅歯科医療について、4) 障害者の歯科診療について、5) 病院歯科診療につ

いて、6) 有床義歯について、7) 歯科自由診療について、8) その他(顎関節症)について検討がなされており、今後、漸次保険給付化していく見通しであると述べられました。

今回は第1回であり、どの程度お集まりいただくか関係者一同心配しておりましたが、県内外から80名参加していただき、熱気にあふれた会を運営することができました。毎年1回、当面、日本口腔外科学会九州地方会にあわせ開催する予定で、来年は久留米市で行なう予定です。興味のあられる先生方は是非御参加いただければ有り難く存じ上げます。なおこの会について、御質問、御要望ございましたら、事務局まで御一報いただきたくお願い申し上げます。

日本病院歯科口腔外科協議会九州集談会事務局；
〒862 熊本市湖東1丁目1-60

熊本市立熊本市民病院歯科内

TEL；096-365-1711

FAX；096-365-1712

(川口 辰彦)

よろこびの声 (在宅診療を受けられた患者・家族のアンケート調査より)

・下の欠歯が多く、残った歯も冷たいものや固いものを食べる際痛みを感じていましたしその治療を受けたいと思っていましたところ治療とともに義歯も入れてもらいました。

身体に障害をもち、寝たきりの者に対して大変お忙しい歯科医師、衛生士の先生方の懇切丁寧な治療及びご指導を受け、感涙の流れる思いで深く感謝致しております。度

重なる訪問治療をほどこして頂き、入歯もすっかりなじみ、毎日の食事が大変美味しく頂けます。その度にスタッフの先生方に深く感謝致しております。

通院することがなかなか困難な者にとっては少々歯が痛くともがまんしてしまうという傾向が強いと思います。そのような者にとっての訪問検診制度は大変ありがたいものです。更なる充実をお願い致します。

熊本市エイズ講演会

- ・ エイズ研究の将来
- ・ ドイツにおけるエイズ教育及びカウンセリング

平成6年9月1日花畑町の市民会館前に熊本市国際文化交流会館が落成し、その記念事業として9月2日午後1時30分より4時30分まで「熊本市エイズ講演会」が熊本市主催で開催されました。



講演会は、熊本市と友好姉妹都市であるアメリカのサンアントニオ市で、エイズウイルス研究の最前線でご活躍の、ロナルド・カティス・ケネディ博士と、ドイツのハイデルベルク市で、エイズ教育やカウンセリングの指導的立場におられるクラウス・フリダー・ムンク博士を講師として招待して行なわれました。

今日、エイズは世界中に広がりを見せ、アフリカや欧米はもとより、東南アジア諸国における感染の拡大はすさまじいものがあります。日本も決して例外ではなく、エイズ患者、感染者は急増する兆しをみせており、現在、国を挙げてエイズストップ作戦を展開しているところです。

ケネディ博士は、「エイズ研究の将来」というテーマで講演されました。

今世紀中にエイズを予防できる効果的なワクチンの開発の予定はなく、治療法も今のところありません。潜伏期間を長くし発症をできるだけ遅らせるところまでです。エイズは増殖する場合突然変異を起こす為にワクチンの開発が難しく、アフリカ、アメリカ、ヨーロッパでみら

れなかった新しい型の強力なエイズが、タイで発見されています。

私達の免疫機構の中で最も重要なT4細胞が減少し、免疫不全症となり、T4

細胞が200以下となった時点でエイズ発症となります。初めの頃は8年で発症といわれていましたが、現在では90%は12年間のうちに発症するということです。

アメリカでは1988年時点エイズ患者10万人、関連症候群をもっている患者30万～50万人、感染者（症状がでていない）500万～1000万人でしたが、1994年2月の時点ではエイズ患者は35万人となり3.5倍へ増加しています。すなわちエイズ関連症候群又感染者も3.5倍ということになりますと、3,500万人の感染者がいるということになります。

おもに年齢としては22才から44才が一番影響をうけています。サンアントニオでは、昨年10月、1,800人であったエイズ患者は今年3月においては、2,000人を越えています。

エイズに対する有効な特効薬がない現在、HIVの流行をスローダウンさせる為には、教育と啓蒙しかなく、特に青少年を教育することが



ケネディ博士



必要であります。

ムンク博士は、「ドイツにおけるエイズ教育及びカウンセリング」というテーマで講演されました。

ドイツでは1994年6月時点で、6万

4千人のHIV感染者がおり、1982年初めて報告されてから死亡した患者は6,600人です。又、新たな感染者の増加が年間約6,000人と予測されています。HIVの検査には、スクリーニングの為のエライザーテスト。確認の為のウエスタンブロットテストがありますが、重要なのは感染して陽性反応がでるまでの期間があり、感染後2ヶ月の間で陽性者は50%しか検出されず、3ヶ月後では80%、4ヶ月で95%です。

つまり4ヶ月間検出されない陽性者がおり、このギャップが検査を受けた人の後のカウンセリングに大きな影響を与えます。

最近感染後早期において生体のウィルスのRNAを追跡するというポリメラーゼ連鎖反応法が開発されました。

陽性の場合、大変ショッキングな検査結果になるわけですので、エイズがどの様に進行していくのか、あるいはその疾患にはどのような段階があるのか、どのような症状が出るのか、各段階において患者の心理状態はどうであるのか等、大変重要な話がありました。

ドイツにおいては、連邦保健省がエイズの情報・教育の為の中央研究所を設け活動を調整しています。そこでドイツにおけるすべてのHIV感染の疫学的データーを集め、情報交換の為にWHOと繁りをもっています。ここでは定期的にエイズに関するデーターをだし、医療従事者が利用出来る様になっています。又、エイズの教育、ケアに関するパンフレットの発行も

行なっています。他にもエイズキャンペーンにおける支援団体として「エイズエイド」と呼ばれる機関があり、個別のカウンセリングによって人々を教育しています。

いまやエイズは、我々すべての関心事であり、多くの人達がこの疾患と係わり合う様になっています。それは、エイズ患者本人であるかもしれないし、エイズ患者の親類又は友人となるかもしれません。したがって我々すべてがこのエイズに苦しんでいる人達を思いやり、支援することが重要です。

最後にムンク博士は、「エイズ患者を一人にしてはならない。エイズにチャンスを与えるな!」と言うメッセージを我々に与えられました。

エイズは、その確実な治療法が確立されていない現在、エイズ感染の予防には教育こそが最高のワクチンと言われています。

出席者(聴講者)には、教育関係者、医師などの多数の出席があり、会場は大変混雑して関心の深さが窺われました。

今回は、この講演会に中根会長を初め、学校歯科、学術各委員、衛生士等が出席しました。

国際交流会館は、鉄筋コンクリート造りで地上7階、地下2階建て延べ床面積8,440㎡の規模であります。近くの熊本城の景観に配慮し、高さ37mに抑え、外壁は花こう岩を使うなど熊本市のシンボルゾーンにふさわしい外観であり、内部も熊本市の国際交流基幹施設として、多様な機能を備えているとの事です。

今回講演があった、6、7階のメインホールは、4ヵ国語同時通訳(英語・独語・中国語・韓国語)ができる230人収容の大ホールで座席は壁に収納して広いフロアにもなり、国際会議や、講演会、発表会など様々な使い方ができます。

熊本市歯科医師会主催の国際会議、又は講演が実現する時には是非利用したいものです。

(学校歯科委員 村上 辰郎・津野田 稔)

委員会だより

学校歯科委員会

全国学校歯科保健研究会

9月29日(木)、9月30日(金)の2日間富山県で盛大に開催された。今年は「学校歯科保健の包括化、発達段階に即した歯科保健活動の生活化達成を目指して」をテーマとして、北海道から沖縄まで多数の参加があった。

熊本県から奥田先生、春野先生、竹下の3名が参加した。



心配された台風も大会運営には問題なく、初日の大懇親会終了後に吹きはじめたが、2日目には、快晴の天気であった。

初日は開会式の後、優秀校等の表彰があり、熊本県からは八代市立昭和小学校が表彰された。

午後1時より、富永一郎氏の「人生みな恩人」と題した特別講演があり、富山は9月末の日本海という事で、寒いだろうと思っていた私の予想に反しあつく、会場の富山市民会館は満員で皆さん熱心に聴きいていた。

午後2時30分より、日本大学松戸歯学部教授森本先生を座長にむかえシンポジウムがあった。シンポジウムでは熱弁がかわされ、予定時間をオーバーし大懇親会が遅れて開会した。

会場の人の多さに驚いたが、料理が量質ともすばらしく満足した。次第に風が強くなってきたが、睡眠不足になる事もなく2日目にのぞんだ。この日はそれぞれ幼稚園、保育園、小、中、高部会、口腔機能部会と分かれ、私は芝園中学の公開授業を見学した。

授業では生徒が虫歯、歯石の発生原因等を発表し、先生がOHPを使いさらに詳しく説明されていた。

また8020にもふれ、生徒の祖父母の残存歯数を調べ、「あなた達が80才になった時の歯は何本残っているかなあ」の質問に生徒達は、首をかしげながら、残存数よりも自分が80才になる事が頭に浮かんでこないのではないかと問われた。

また、別の教室では歯によいお菓子作りが行われ、生徒たち(特に男子)の奮闘ぶりがビデオで流され、実際にできた物を食べたがとてもおいしかった。クッキーが硬かったので、先生に「これだけ硬いと子供たちが食べますか」の質問に「最初は硬いから心配したけど、少し咬むと柔らかくなってきて、子供たちは喜んで食べます」という返事がかえってきた。

午後3時より、それぞれの全体協議会があり熱心な討論会が行われた。来年度は、愛知県で開催される予定である。

追伸 関西空港は、新しくきれいだが、空港から大阪まで遠い、さらに富山は大阪から遠い、おかげでいい旅が出来ました。

(学校歯科委員 竹下 憲治)

委員会だより

口腔衛生委員会

熊本市立幼稚園のフッ素塗布と歯磨き指導

平成6年7月13、14日熊本市立幼稚園に於いて、フッ素塗布と歯磨き指導が行われました。13日は一新、五福、碩台、古町、14日は向山、楠、川尻の計7つの園で実施されました。

まず衛生士学院生による歯磨き体操、紙芝居により歯磨きの重要性をアピールした後、ブラッシング指導が行なわれました。

その後、口腔衛生委員による歯科検診と平行して、児童（希望者）に対してイオン導入法でフッ素塗布が行われました。



（口腔衛生委員 原田 教二・与儀 実彦）

学校歯科委員会

第44回九州地区学校保健研究協議大会

平成6年8月21日～23日 鹿児島市において平成6年度表記大会が開催された。

本会の趣旨は、九州各県の学校保健関係者が参集し、学校・家庭・地域社会及び関係機関団体との連携による保健・安全指導の在り方やその実践活動上の諸問題について研究協議を行い、健康で安全な生活を自ら実践する児童生徒の育成に資する事である。今回の主題は「生涯を通じて豊かな心をもちたくましく生きる子どもの育成」であった。

九州各県の学校保健会、教育委員会他により主催された協議会の中でも、鹿児島県歯科医師会館にて催された第5分科会においては「疾病予防と健康増進」のテーマのもとに発表がいく



第5分科会では歯科関係の発表がされた。

（於：鹿児島県歯科医師会館）

委員会だより

つかなされており、ここに紹介する。

鹿児島市立武岡小学校教諭は、同校児童の主體的な健康保持増進する実践的態度や能力の育成のための活動を研究内容として発表した。同校の児童は自主的に促進活動のテーマ作り、広報、実践化に努めており、その中でも、毎月8日を「歯の日」として意識を向上し、年一回の歯科衛生士による指導を実施している。さらに家庭・地域の連携としてはPTAや地域懇談会でも、健康に関するテーマに沿った話し合い活動などを行っている。

宮崎県立宮崎丈宮高等学校教諭は、同校が「学校教育改革推進事業実施校」に指定されたことにより、学校教育の原点というべき健康教育の洗い直しをその経過と方向性について発表した。生徒の実態として朝食を摂らない生活習慣、睡眠不足に起因すると思われる体力不足や無気力が増えている。健康観を育てるために、指導の在り方を深く認識し、PTA会等に啓発活動し、学校・家庭の連携が重要であると述べた。

開聞町立開聞小学校学校歯科医は、家庭・地域

社会との連携を図りながら歯の健康づくりをどのように進めたらよいかを主題として発表した。DMF 6.2を0.1以上下げる、予防に必要な習慣を身に付ける、保護者・地域社会への啓発を図る、を目標に実践した。

その活動内容は歯の健康教室開催・口腔内写真による意識啓発・歯型による意識啓発、などである。それにより保護者、地域社会の人々にとり、歯の健康づくりは人としての健康づくりの入り口であることの重要性が認識されつつある。今後も継続した指導を図り、食生活・身体全体を含めた歯の健康づくりを推進していきたいと述べた。

質疑応答では、短期間の調査における問題点やコスト面、継続性などについて活発な意見が交わされ、出席者一同の理解を深めることとなった。

まとめの指導助言として佐賀県学校医部会長・鹿児島県学校歯科医会副会長により、研究内容に対して期待以上の内容であったこと、今後さらに連携と継続性を深めた活動を希望して本会の結びとした。

(学校歯科委員 弘中一郎)

よろこびの声 (在宅診療を受けられた患者・家族のアンケート調査より)

・たいへん丁寧で、よく説明をして下さって納得のいく迄、何回も何回も来て頂いて、その後の調子をTELで聞いて下さって、私達も、もう安心というところで終わりました。今はしっかりなんでも食べられて感謝しております。

・三本連結してあった歯が支えが1本だけになり、ゆらゆらして、うごくたびに痛みを

感じ、すぐにでもはずれそうになっており、飲み込んだら大変だという状態でしたので、こちらの状況を察して早急に訪問していただき、衛生士の方も、往診いただいた医師の方も、病状を気にしながら適切な措置をしていただき親切に対応していただいた事を感謝しております。なお、歯科衛生士の方から数時間後に電話があり患者の容体をたずねられる等細かい心づかいを嬉しく思いました。

委員会紹介

質問事項

- 1) 開業場所
- 2) 家族構成
- 3) 最近感動したり考えたりすること
- 4) 委員会に所属しての感想
- 5) 歯科医師会に期待すること
- 6) ストレス解消法

口腔衛生委員会



担当理事 矢毛石 豊



- 1) 熊本市神水2丁目16-5
- 2) 妻 啓子
長女 真理子(高2)
長男 昌裕(小5)
- 3) 行きつけのカラオケ、スナックで流れている歌が、誰の歌だかほとんど分からず、野球からサッカーへと移行する世代に付いていけず、人生の端境期に立たされた気がする。
- 4) 当委員会も足掛け8年程になり、対外的にも顔見知りが多くなり、少しずつ物が言えるようになりました。市歯科医師会の活動に、少しでも貢献できればと思います。
- 5) 個々の会員が、何らかの形で会の催しに参加出来るよう、魅力ある歯科医師会にしていきたい。
- 6) 友人と酒を飲み交わし、愚痴を言い合いながら翌日にはすっかり忘れてしまいます。



岡本 寛委員長

- 1) 熊本市帯山4丁目29-1
- 2) 妻 直美(30才)
長男 宗徳(7才)
長女 真由佳(4才)
- 3) 佐賀商業高校の優勝、無名の高校が一試合ごとに団結力を増し、明るくのびのびとプレーする姿がすばらしかった。
- 4) 前期と同じメンバーなので、特別な感想はないが、明るく仕事もスムーズに行える委員会だと思っている。
- 5) 現在のままの明るい何でも言える歯科医師会であってほしい
- 6) ゴルフ、麻雀



与儀実彦副委員長

1) 熊本市長嶺町 2608

2) 妻 祐子

長男 亮一 (10才)

長女 裕美 (8才)

3) 私の息子と娘も、そろそろ物事の良し悪しが解る様になってきました。幼稚園児のころのように、白を黒と言いつけられなくなってまいりました。

4) 2期目となり少々つかれ気味ですが、理事、委員長共に元気な方ですので、なんとかついていきたいと思います。

5) 学術団体として発展して行くのでしょうか、同業者組合として団結して行くのでしょうか。

6) 私のストレス増大法…釣り



岩村公一委員

る機会の多い委員会だと思っています。それだけに行なう仕事の責任の重さを痛感しています。

5) 今の歯科界をとり巻く環境や情勢の積極的な改善への努力を期待します。

6) 愛犬と思いきり遊ぶ事と、月に1度のゴルフ



1) 熊本市渡鹿6丁目8の26

2) 妻 敏恵

長男 健太郎 (5才)

次男 剛士 (3才)

長女 奈央 (7才)

3) 最近、体力の低下を感じ水泳でもして健康維持しようかと考えています。

4) 2期目に入りましたが、微力ではありますが、なにか役に立つ事が出来ればと思っています。

5) 数々の問題、事業をやかましていると思いますが、個人としては診療報酬のアップでしょうか？

6) ゴルフ。100たたきのゴルフで1～2回のナイスショット。



原田 教二委員

1) 熊本市高平3-13-26

2) 妻 千草

長男 充博 (7才)

次男 慶貴 (5才)

3) 世の中の流れが速すぎて、とてもついて行けません。何でも新しい(確かに便利な)物が次々に出てくる時代。

流行に左右されずにマイペースで進みたいと思います。

4) 他の先生方がよく勉強(遊び事も含みます)されているのにびっくりしました。みんな元気ですね。

5) さわやかで、密度の濃い歯科医師会

6) 古い車を夜明けに走らせること。



笹原慎一郎委員



1) 熊本市上通4-18

第3井上ビル3階

2) 妻 智世子

長男 悠貴

(’94.3.28生)

3) 矯正専門で開業し、やっと2年たちました。たくさんの先生方に励ましていただき、心か

ら感謝しております。ますます良い治療ができるよう努力したいと思います。

4) 矯正のことしかわかりませんが、口腔衛生の仕事の中で、関係することもあるようです。そのような面で自分を活かせると思っています。

5) まますます開かれた会になって、誰でも参加できる気安さがあればいいと思います。

6) 仕事から帰って子供の相手をする事です。



山部耕一郎委員

1) 熊本市中央街3-3

2) 妻 敦子

(今年11月出産予定)

3) 妻の中で一生懸命動いている命に、今さらながら感動しています。

4) 各委員会の中でも、おそらく最も行政と係わ



斉藤 忠継委員

「水酸化カルシウム療法」

学術委員 菊川明彦

先日（平成6年6月21日火曜日）行いました第16回ビデオ研修会「歯科治療とアレルギー疾患」におきまして取り上げました、水酸化カルシウムを根管治療薬として用いる方法について、何件か問い合わせがありましたのでここで改めて取り上げ、解説して行きたいと思います。

今なぜ水酸化カルシウムなのか （その時代的背景）

アレルギー患者が急増していると言う事実があること。平成3年に行われた厚生省福祉生活実態調査により、具体的に都市部で3人に1人、郡部で4人に1人が何らかのアレルギー症状を持っているということが明らかになって来た。

アレルギー増加の原因については大気汚染物質増加説、気密性の高い家屋の増加により室内汚染物質（ハウスダスト等）増加説、食品添加物説、ストレス説、日本人の寄生虫保有率低下説等々であるが、「現代の文明病」と言われているだけに今後も増加が見込まれるだろうし、「1億総アレルギー時代がやってくる」と警鐘を鳴らす人もいる程である。

根管治療薬に対する考え方の変化

かつてはその作用範囲は根管内だけと言われていた根管貼薬剤も、放射性同位元素でラベルした根管貼薬剤を動物の歯に貼薬すると、短期間のうちに全身から放射性同位元素を検出するという事実により、「根管貼薬剤は全身に移行する」ということが明らかになってきた。具体的

な症例としてFCやヨードホルム、トリオジンクパスタ、エリスロマイシン、クロラムフェニコールなどに激痛、薬疹、全身倦怠感などが現われた報告がある。最近の根管貼薬剤の必要条件として「細胞性免疫反応を惹起しない」というのが条件として取り上げられてきた。実際GrossmanのEndodontic Practiceという本には根管貼薬剤としての抗生物質の使用に関する記載ページ数は改訂のたびに少なくなり、最近ではどこを探しても載っていないという現状のようである。

日本では、実際に細菌に対して効果があり、よく効くのであれば、使わない手はないということでこの事に関してあまり強く言われていないようであり、実際よく使われている様であるが、世界的な傾向としては、「免疫反応（アレルギー）を引き起こすものは使われない傾向にある」ということである。

どんな薬剤が有害なのか

抗生物質に対するアレルギーはもちろんよく知られている。日本では唯一クロラムフェニコールが根管用の抗生物質として市販されているが、それ以外にも眼科用のテラコートリル軟膏や歯周用のペリオクリン軟膏を根管に使ったり、内服抗生物質のカプセルを破り、内容物を蒸留水に溶かし、綿栓に貼薬するなど、型にとらわれない色々なやり方で利用されている様である。いずれにせよ前述の如く世界の流れとは違う方向にあるということだけは頭に入れておかなければ

ればなるまい。

では最もよく使用されているであろうFCについてはどうであろうか。1968年に行われたパッチテスト研究会の1000名に対する48時間後の結果によると5%水溶液のホルマリンに対する反応が8.7%に出たということである。1000人いれば87人に反応が出るということである。もっともこれは母集団にもよるであろうが、26年も前のデータであるし、アレルギー急増の傾向から考え、現在ではもっと高い数字が予測される。これは我々歯科医にとっては日常的に使う薬だけに驚きの数字であるが、皮膚科のDrにとってみれば割に有名な話で、新しい衣服には組織の安定剤にホルマリンが使われているようで、下着とか直接肌に身につける衣類は必ず洗濯しなければカブれて着られないという人はほとんどがホルマリンのアレルギーでやはり10人に1人ぐらいの割合でいるそうである。FCの有害性については過去に何度も問題になりながらやむやんになっていたが、最近の運動はなかなか過激で、日本臨床歯内療法学会会長の松本光吉先生（昭和大学教授）は学会の平成6年のキャンペーンを「ホルマリン系根管貼薬剤の追放」に掲げておられる。

根充剤においても、ユージノールは再発を繰り返す顔面の化粧品皮膚炎を引き起こす代表的な香料アレルギーのひとつであり、キャナルス（ユージノール系）よりもキャナルスN（非ユージノール系）が使われる傾向にある。

突き出されたガッタパーチャ・ポイントが異物として吸収され続けることから、含まれている亜鉛による細胞毒性が言われている。ややアンダー気味に生体とあまり接触しないように根充されたほうが余後がいいのもこのためと考えられる。パーチカルカラテラルかの一論点にもなっている様である。

水酸化カルシウムの特徴

歯内療法科の教室員が世界各国に留学して帰ってくる。その情報を集めると、上記の流れから、欧米ではどの国も水酸化カルシウムを使うのが主流になっているということである。

根管貼薬剤としての水酸化カルシウムの特徴をいくつかあげると、

- ①周囲へ溶出する速度が遅く、持続的な効果が得られる。次回来院までの間隔が長くなっても十分な効果を期待できる。海外旅行のため1ヶ月来院できないとかいう場合にも対応できる。
- ②嫌気性菌に対する抗菌作用に優れ、陰性の細菌培養結果が得られやすい。直接接しているところではpHが非常に高く、細菌は生きられないが、浸透性が悪いため、少し象牙細管の深部に入ると効果が薄いと考えられる。
- ③滲出液がなかなか止まらない根管に使用すると好成績が得られる。fistelがなぜか消えるという人もいる。
- ④根尖孔が大きくなってしまった症例では根尖部に硬組織形成を促す作用がある。一種のアペフィキシケーション作用がある様である。FCの有害性から九大小児歯科の中田教授らは乳歯の断髄にもFCは使わなく、断髄面に直接水酸化カルシウムを置く方法をとられている様だが、Perってしまった時にデンチン・ブリッジができしまい、根管治療がやりにくくなる欠点がある様である。
- ⑤痛みやアレルギー反応などの臨床症状が出にくい。根管からの排膿に勢いがあるときは症状が出るようである。

水酸化カルシウムの根管貼薬術式

水酸化カルシウムは試薬で買うと500gで800円程度。出入りの歯科材料店でとりよせてくれ



図 1

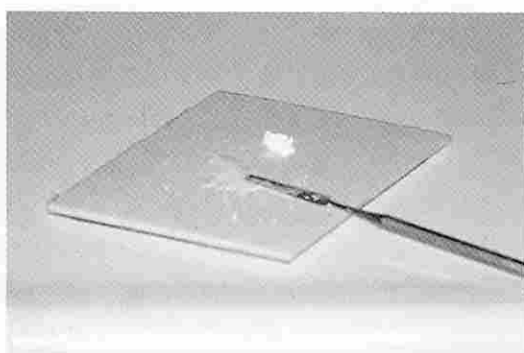


図 2

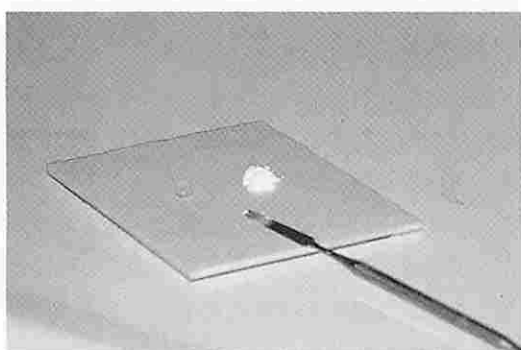


図 3



図 4



図 5

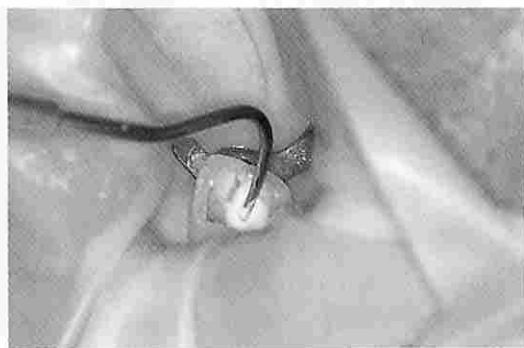


図 6

る。かなり分量がある上、空気に触れると炭酸カルシウムに変成してしまうので適当な小瓶に小分けして使う。(図 1) その術式は
①滅菌練板上に適量の水酸化カルシウム粉末と滅菌生理食塩液をとる。(図 2) 練板はガラスでも紙でも可。液もできれば生食か蒸留水がいいが精製水でも可。私のところでは管理が簡単な

のでコンタクトレンズ用の精製水を利用している。水道水には雑菌がいるため使用できない。
②滅菌スパチュラで両者をペースト状に練和する。(図 3)
③練和泥をスプーンエキスカベータで根管口に運ぶ。(図 4)
④レンツ口で練和泥を取り、回転させながら根

尖方向へ送り込む。(図5)

⑤根管口相当部に乾燥小綿球を置き、水酸化カルシウム泥が根尖まで到達するように根管充填器で上から十分に圧接する。(図6)

⑥髓室に乾燥綿球を置き、次回来院時まで仮封する。

⑦根尖口が広い症例では水酸化カルシウムを数カ月貼薬しておき、根尖部が硬組織で閉鎖されるのを待ってから、根管充填を行う。その間の貼薬交換は一カ月に一回程度とする。

水酸化カルシウムが効を奏したと思われる一症例をあげる。6]の遠心根の根尖病巣。8]は抜

歯。(図7：術前、図8：術後)

まとめ

米国の現状では、使用されている根管貼薬剤のNo. 1は水酸化カルシウムであり、FCには使っている人と使っていない人との個人差があり、抗生物質にいたっては少くとも歯科大学で使っているところはないとのことである。

日本でもアレルギー急増の現状では、FCも、その浸透性を生かし閉塞根管の消毒に利用されるだけになるか、もしくは全く姿を消す日が案外早く来るかもしれない。



図7



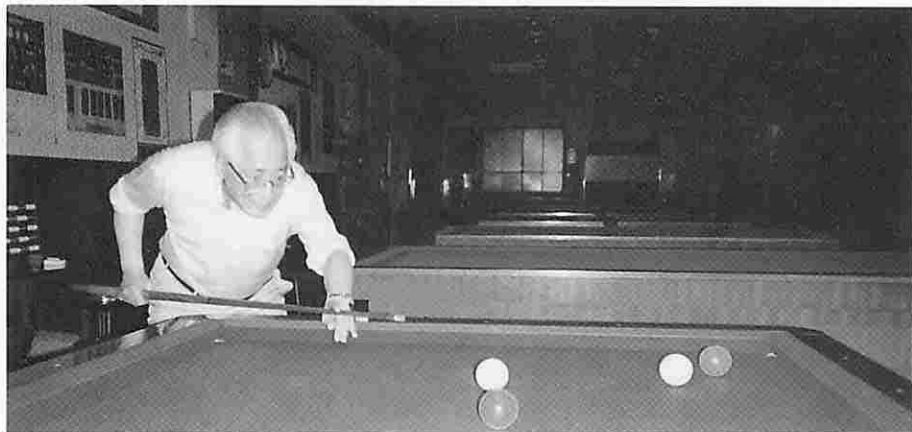
図8

(参考文献)

- 1) 須田英明：最近の根管消毒剤・日本歯科医師会雑誌、2：4～11、1990.
- 2) レイモンド・T・ウェーバー：外傷歯の処置と水酸化カルシウム療法、HDR出版、東京、1987.
- 3) 須田英明：歯内療法処置中に根管からの滲出液がなかなか止まらない時、デンタルダイヤモンド増刊号新チェアサイドの応急処置100問100答、100～101、1992.
- 4) 玉澤かはる：根管消毒薬として何を使用したらいいか、歯界展望別冊歯科器材・薬剤選択のすべて、89～95、1993.
- 5) 下川公一他：生体反応からみた歯内治療の新指針、日本の歯科医療を考える、クインテッセンス、193～221、1994.
- 6) 松本光吉：巻頭言、日本臨床歯内療法学会誌、6：1、1994. 他

全九州ビリヤード選手権大会に参加して

吉良 直衛



去る平成6年4月3日全九州ビリヤード四ツ玉アマチュア選手権大会が熊本市河庄にて開催されました。私共（吉良、奥田実先生、岩村泰行先生）は熊本代表選手として参加致しました。堀川先生は練習不足と体調不全の為辞退されました。参加者は全九州より約60名位10時より午後6時頃まで華々しく覇権を争いました。結果は次の通りになりました。

C級優勝 吉良直衛

二位 奥田 実

岩村先生は残念ながら惜敗に終わりました。尚ランクはA級（H100以上）B級（H51～100）C級（H50以下）に分れています。入賞は3位までです。毎年福岡（秋）と熊本（春）に於て2回開催されていますので今までに毎年参加致していましたが私共が優秀な成績を得ましたのは今回が初めてです。20数年の精進の結果が結実したものとして大変喜んでおります。趣味として始めた撞球が日頃診療に追われている私共の生活に幾らかでも潤いをもたらすことが出

来たらと願いつつ今後も熟年パワーを発揮して頑張ってゆきたいと思っております。尚、奥田先生は80才の高令にもかかわらず県外の九州大会へ単独で度々遠征され入賞されることも数回に及びその熱心さと度胸のよさ、先生独特の手法（忍法）には我々も全く脱帽と云う所です。毎週土曜、日曜の午後4時頃から河庄にて練習を致しておりますので興味のある先生は1度我々の全く進歩の跡の見えない猛練習ぶりを御覧になつては如何でしょうか。



メダルを胸に私（右）と奥田先生

雲仙、有田ポーセレンパーク

平成6年8月20日～21日

岩村 泰行



ポーセレンパークにて

昨年は壱岐に参りましたが、今年は何処にするか役員と協議したところ、当初計画した所は予約が取れなく再三検討した結果標記の所に決定しました。

今年は例年になく猛暑続きで雨が降らず、台風の接近で雨をもたらしけると期待していました。しかし、旅行当日には降って貰いたくないと複雑な気持ちでした。また普賢岳も小康を保っているとは言え、何時ドンとくるか予測は出来ないのですが、今回の雲仙温泉は西北裏側に当たる所でその気遣いは無用のようです。土曜午前の診療を終えて県庁東門を午後2時20分に快晴の中マイクロバスで出発した。薄緑の屋根のモダンな新しい熊本港につき、そこからは波静かな有明の彼方にボンヤリ雲仙が霞んで見える。暫く休んだ後、マイクロバスに乗車しそのままフェリーへ乗船する。

3時30分フェリーは静かに滑るように出港した。左手に宇土半島の山々を見ながらやがて雲仙がはっきりみえてくる。甲板に出てカメラの

シャッターを切る。暑い日差しの中ではあるが海風を受けて心地よい。普賢岳は何事もなかったかの様に目の前に迫ってくる。島原港から暫く走って水無川にさしかかると、路のかたわらに車を止めて火砕流、土石流の災害を環境庁長官視察のごとく見る。筆で掃いたように山頂から末広がり一気に立っているところまで薄ベージュ色に流れ下っている。まるで砂漠の中に大小さまざまな石が根元を埋めているようで、散在してその中に倒壊して埋まっている家がある。なかには不思議にも建ったまま、まるで洪水で水に浸かっているかのように屋根だけ地上に出て埋まっている家々がある。、自然の猛威を改めて実感すると共に、被災者の方々にご同情申し上げ、一日も早く立ち直れることを念じて再び車を走らせた。島原半島を西北に半周して目的地雲仙温泉「ホテル東洋館」に着くと、それぞれの部屋で旅装を解き、大広間で宴会に移った。しばし仕事を忘れて盃を酌み交わし、昔話に花が咲き、和気あいあいのうちに宴もお開きとなっ

た。大浴場で思い切り手足を伸ばしゆったりしていると、店の人が湯の温度を調べにきた。覗いてみると40℃もある。なるほどそれで入るとき少し熱いナーと感じたはずだ。翌朝同室の田上学先生、鶴田実馬先生をお誘いして地獄？へ行ってみる。ホテルから歩いて約5分、温泉神社の横を左に入ると前方に大小様々な湯煙が目の前一杯に立ちのぼっている。散策道路に沿って歩を進めると、ちょっと小高い所に朝日の陽光を背に殉教の十字架が輝いていた。ずっと一回りして帰りの途中にひときわ大きな岩があり、それはその名も忘れかけていた『君の名は』の真知子岩であり、そこには湯が踊りわいている。約30分程回ったでしょうか。ホテルに帰り朝食。9時半にホテルを出発し静かな橘湾を左に眺めながら茂木枇杷で知られる茂木に着いた。「二見」で昼食となり、大きな活作りの鯛の二盛りを中心に数多くの海の幸で盃をかたむけた。座敷の真下から遠く天草灘が広がり、まさしく頼山陽の泊天草洋「雲耶山耶吳耶越 万里泊船天草洋…」である。茂木から324号線で長崎に入る。長崎はこの方からはいるのは初めてで、バスの窓から見ると山の中腹まで住宅がぎっしりと並んでいる。主要な道路に面した家で車が通る所では屋上が駐車場となり、道路から敷地内に車の通らない家は狭い石段でつながっている。住めば都だが坂の町とは言えさぞかし不便であろうと感心もした次第です。市内を抜けて長崎道、西九州自動車道を経て有田ポーセレンパークへ向

かう。実は有田ポーセレンパークと聞き馴れないし、有田焼の流通センターと立派な所が既にあるのだからなあと思っておりました。着いてみると全然様子が違い、広い前庭の先に欧州の宮殿を思わせる立派に堂々と横長くデンと構えている建物がある。その名もツヴィンナー宮殿といい、ちょうど大英博物館の日本磁器展があっていました。そこには大小様々な英国に渡っていた日本磁器の名器が静かに誇らしく置かれています。宮殿を出て売店、レストラン、その他があり、体験コーナーのエリアではロクロに挑戦しました。指導の先生は約40分はかかるとの事でしたが、無理にご相談（勝手な我が儘をお許し頂き）して20分に短縮してもらった。まずはデモがあり、搗き立ての餅のような乳白色の約20センチ大の一塊をロクロの上にデンと置かれると静かにロクロが回り出した。先生が両手ですくうようにして乳白色の塊の側面に両手を当てられると生を得たように盛り上がりながらくびれが出来てくる。デモが終ると、改めて一塊の陶土を自分達の前に置かれて交替手取り足取り？お陰で世界でただ一つの自分のオリジナル作品ができました。面白くて始めたらのめり込んでしまった。約一ヵ月間焼成して送るという事だがどんな作品が出来ますやら？帰りは鳥栖を経て高速自動車道で6時半頃無事帰着しました。雨が一滴も降らず猛暑の中、事故も無く、楽しい二日間の旅でした。お世話をいただきました宇治先生、吉永先生ありがとうございました。

「写真」

中川 順一



撮影風景

写真との出会い

私と写真との出会いは突然でした。今からちょうど12年前、上通りの緒方先生から誘いを受けました。それまでバカチョンカメラしか写した事のない私にいきなり「写真同好会」を作ったから入れというものでした。「写真ばですか」と一瞬迷ったものの「女性」を撮るという言葉にスケベ心を刺激されて、承諾してしまいました。

最初の撮影会の時、カメラ屋さんに借金して買ったのが何と、当時35ミリ一眼レフカメラで最高級であったニコンF3でした。そのカメラの何たるかも知らず、何とカメラとは高い物だろうか位にしか思いませんでした。

その時の撮影会は今考えるととても滑稽です。カメラ屋さんからカメラを受け取り、箱から出してもレンズの付け方も分からない。やっと付けてもらってフィルムを貰っても入れ方が分からない。どうすればいいんだろうとあっちこっち触っていると、横に居た先生が「おい、フィルムは入れてくれんや」、「え〜！」でその横の先生を見たら「わしもわからん」、「ひえ〜」でカメラ屋さんに皆でフィルムの入れ方から習いました。指導の先生が「絞りは8」とか言われ

ると「シボリてどれや」、「皆さんのASAはいくつですか」、「おい、アーサーで何や」てな具合でまるで落語の世界です。

そんな次元から始めた写真ですが、写真雑誌や専門書等を多少読み噛んだり、撮影会を何回かするうちに写真展をしようと言うことになりました。今考えると冷や汗物ですが、その頃は自信満々でした。驚きです。

モデル探しの苦勞

写真を続けて来て一番苦勞した事と云えば、モデル探しです。その頃風景や草花を撮ってもとても写真にならなかった物ですから、最初から絵になっている若くて綺麗な女性を探さなければならなかった訳です。たまには知り合いの女性を誰かが連れて来る事もありましたが、そんなに居るものではありません。仕方なくクラブやスナックの素人ばい娘を口説いてはモデルにしていました。その頃かなりの数の飲み屋にアミを張っていました。だから私は夜の世界に詳しいのであって本意ではないのです。口説くと云ってもモデルになってくれと口説くのであって、自分の為に口説いた事はありません。誤解の無いように。???...



私の考える写真

それでは本格的に写真の話に移りましょう。ただ最初にお断わりしておきますが、今から書くことは私個人の持論でありまして、もっと素晴らしい考えをお持ちの方もいらっしゃるでしょうし、違う考えをお持ちの方もいらっしゃるでしょう。私自身数年後にはもっと進歩した考え、知識を持ちたいと思って居ます。それだけ写真とは奥深い物だとお含み置き下さい。

軟かい写真と硬い写真

先ず写真に欠く事の出来ない物が《光り》です。一言で光と云っても光源はいろいろ有ります。太陽、ライト、炎、発光する動植物等。また種類としては直射、反射、乱射、透過等。太陽光線一つを取っても春夏秋冬で違うし、朝昼夕で違います。特に日の出や日の入り時の色の変化は数秒毎に変わって行きます。それにその日の天気にも左右されます。

(写真) 1を見て下さい、これは障子の透過光とモデルの前面からライトを当てて撮りました。透過光のお陰で柔らかい感じになっていると思います。次に(写真) 2を見て下さい、これは戸外の日陰でモデルを直射日光と窓枠の間に立たせて撮った物ですが、如何に直射日光が強いかが判ると思います。写真の種類にもよりますが、写真には昼間の直射日光は合いません。またこんな経験は有りませんか。昼間対向して来る車を運転している女性がとても美しく見える事が。この条件は美しく見えるとても良い条



件なのです。昔から「夜目遠目笠の内」と云いますが、直射日光を車の屋根が遮り、前下方からボンネットに反射した光がフロントガラスを透過して当たります。左右後ろからもガラス越しに反射光が入り直接当たったり車内で反射したりでとても柔らかい感じになっています。それをまたフロントガラス越しに見るのですから普通の女性も美人に、美人は超美人に見える事になるのです。

場面の切り取り方について

次に、写真では普段我々が漠然と見ている景色を四角いフレームで囲って見ます。するとなんでもない景色が別世界のように見えて来ます。(写真) 3を見て下さい。これはわざわざ遠くの海まで出掛けて行って撮影したものではなく我が家から5、6分で行ける白川の土手から撮った物です。もう少し上にパンすれば国道3号線を行き交う車が見え、立ち並ぶビルが見えます。このようにいつも何げなく見ている普段の生活においてもカメラを覗く事によって新しい発見が有り感動が有ります。



また、写真は動きの中の一瞬を撮ります。連続する動きの断面を引き出す事により肉眼では見れなかった世界が現れて来ます。

1/2000, 1/4000 のシャッターで切れば噴水や滝の水がまん丸い水玉に写りますし、1/1, 1/2で切れば白い線となって写ります。撮影意図によってシャッタースピードを変えれば肉眼では見れないいろんな画が楽しめますよ。

もう一度(写真)3を見て下さい。これはシャッタースピード 1/250 で切っています。1/250 のシャッターではゆっくり飛んでいるカモメは静止していますが速い動きの翼の先端はブレています。このブレがこの写真に動きと云うものを与えています。1/1000 や 1/2000 ではこの場合動きの無い物になってしまいます。

ボケの効用

もうひとつ肉眼と写真の大きな違いに被写界深度と云うものがあります。これはどんなものかと言いますと、ある人を写したとします。その時背景がボケているのを被写界深度が浅いと云います。背景までキレイに写っているのを被写界深度が深いと言います。どういう時に違いが出るかと云いますと、ひとつはレンズの種類です。35mm とか 50mm、100mm レンズとか有りますね、そのレンズの数字が小さい程画角は広くなり被写界深度は深くなります。逆に数字が大きくなる程画角は狭くなり被写界深度は浅くなります。数字の小さい方から魚眼、広角、標準、望遠、超望遠となります。

もうひとつは「絞り」です。普通 f で表示しますが、f の次ぎに来る数字が小さいほど開放で被写界深度は浅くなり、大きいほど絞り込まれて被写界深度は深くなります。

大体この四つが理解出来れば写真は撮れますが他にもいろんなテクニックや知らなければならない事が沢山有ります。今、私はそのひとつひとつを勉強中で、入門したばかりの段階で

す。もしこれを読んで、写真を撮って見たいなと思った方、少しは写真を撮ったことのある方、おまえに写真の何たるかを教えてやろうと思われる方は私に連絡して下さい。待ってます。

TEL 096 (352) 4214 FAX 096 (325) 3156

私のシャッターチャンス

では、最後に私の知り合いの写真屋さんの話をします。この写真屋さんは有明海の干潟を毎年撮り続けています。何故何年も掛かるのでしょうか。それではこの場合の良い写真を撮る条件を考えてみましょう。

まず、大潮である事、最干潮時である事、そしてその時間が日の出の時である事。天気が良い事、微風が吹いて水面を小さく波立たせる事、出来れば適当な大きさの適当な間隔の適当な位置に漁船がシルエットで居てくれれば最高です。そしてシャッターを押す時間は数分も有りません。また、その現場に居合わせても写す人が気分が高まっていなければなりません。つまり絵心がなければなりません。何でもいいですが、例えばゴルフをしていてどうしてもゴルフ心が涌かない時と熱中出来る時と有ると思います。その時スコアはどちらが良いですか。写真もそれと一緒にです。

そしてこんなことが果たして年に何回有るのでしょうか。未だにその写真屋さんは毎年毎年暇を見つけては干潟を撮りに出掛けて行きます。

このように莫大な時間を費やして一つの写真を撮り続ける写真家の人は沢山います。

しかし一つの事を追いかけていなければ、我々の生活の中には沢山のシャッターチャンスが転がっています。それを見逃さずにもものに出来るか出来ないかはそれを見極める眼に有ります。

ただ、私も何回も悔しかった事がありますが、そしてそれが一番大切な事なのですが、そのチャンスの時にフィルムの入ったカメラを手に持っている事です。

一枚の写真



1) 氏名：伊東泰蔵

住所：熊本市長嶺町

2255-516

2) エピソード・思い出

高校1年、新人戦の時の写真です。ボクシングフライ級でこの時は、6～7 Kgの減量を行っていました。試合に出る前に、まずこの減量が辛く苦しい思い出でしたが、試合が終わって腹一杯食べる満足感は今も覚えています（昭和45年）。



3) 近況

最近高校時代から体重が約10 Kg増加し、この3年間のうちに3回の骨折（右手と右足－2回）をしました。この経験から、足腰を鍛えるために“歩くこと”に専念しています。

4) 近頃感じたりすること

歯科治療において、小児から熟年のお年寄りまで幅広く診療を行っていきたいと思います。

子供の顎関節症は先生達が予想される以上に、頻度的に多く低年齢児（10才以下）にも発症しています。



氏名：稲葉逸郎

住所：熊本市花園3丁目

21-47



この写真は、9年前自宅を新築した時に「ア

イラブリビング」というテレビ番組に出演した際、案内役で我家にこられた俳優の川津祐介さんと一緒に写った写真の1つです。

朝早くから夜まで丸一日かかり東京の日本テレビからスタッフが10数人来て大がかりの撮影でした。

でも全国版で放映されたのは約15分くらいだったと思います。去年亡くなった父が一番喜んで全国にいる友達に電話してテレビに出るからと大さわぎでした。

今見ると子供達もまだまだ小さく私自身も若く、一緒に写っている父は他界し年月の流れを感じます。

一枚の写真から9年前の家族や両親の事その頃の病院での出来事など色々思い出されます。毎日の診療の中でこれからも色々なものに挑戦して頑張りたいと思っています。



1) 氏名：沢木孝明

住所：熊本市東野
1丁目9-8

2) エピソード・思い出

1枚目・H5正月 栃木県のスキー場にて
準備万端いざゲレンデへ!!

2枚目・帰熊途 羽田空港
次男 右足骨折し車椅子にて
左端 やつれたひげ面の自分

当時次男は6才でリフトを遊園地感覚で乗りたいと言い出し、仕方なく私と一緒に2回滑ったのです。…が、3回目に曲がり切れずにひねってしまい次男だけが…。



スチュワーズから「あらっ折っちゃったの、大変ねえ」、「この人が折ったの」次男が私を指示す。私…赤面
とんだファミリーサービスでした。



3) 近況

40才にて剣道を始めました。

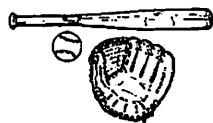
熊歯剣道部、青剣会の諸先生、今後共稽古
よろしくお願い致します。

4) 近頃感じたりすること

本来の勉強を続けようと思います。



スポーツの広場



トーナメントゴルフ会

平成6年7月24日 10名

		アウト	イン	グロス	H.D.	ネット
優勝	河野 生司	43	48	91	28	63
2位	長浜宗一郎	54	51	105	36	69
3位	森 一	41	43	84	14	70
4位	合沢 康生	41	43	84	12	72
5位	青木 群育	48	48	96	22	74
B B	細川 孔	53	49	102	22	80

平成6年8月7日

優勝	河野 敬明	44	43	87	16	71
2位	斉藤 忠継	48	45	93	21	72
3位	森 一	45	44	89	12	77
4位	本田 治夫	50	46	96	19	77
5位	寺島 美史	59	51	110	32	78
B B	谷川 貞男	45	48	93	11	82

平成6年9月18日 18名

優勝	合沢 康生	40	41	81	12	69
2位	河野 敬明	44	41	85	16	69
3位	安田 光則	44	46	90	19	71
4位	大森 秀則	45	47	92	21	71
5位	寺脇 博	44	47	91	19	72
B B	山室 紀雄	49	44	93	12	81

空港デントル会

平成6年8月7日 16名

ダブルベリア方式

		アウト	イン	グロス	H.D.	ネット
優勝	松本 光示	38	41	79	4.8	74.2
2位	渡辺 博	46	43	89	14.4	74.6
3位	中島 義和	42	39	81	6.0	75.0
4位	千場 敏昭	44	48	92	16.8	75.2
5位	三笥 司	41	45	86	10.8	75.2
B B	神戸 威	49	47	96	15.6	80.4

熊本デントルゴルフ

平成6年8月21日 空港カントリー 15名

優勝	中島 義和	39	40	79	7	72
2位	元島 博信	45	45	90	16	74
3位	松本 光示	41	39	80	6	74
4位	三笥 司	42	44	86	10	76
5位	甲斐 利博	39	44	83	5	78

平成6年9月18日 空港カントリー 23名

1位	稲葉 逸郎	40	40	80	8	72
2位	渡辺 賢治	41	39	80	5	74
3位	中島 義和	40	42	82	6	76
4位	小田 和人	43	43	86	10	76
5位	三笥 司	43	43	86	10	76

新人です！よろしくお願いします

新人会員紹介



氏 名 渡 辺 洋

住 所

(自 宅) 熊本市花立3丁目3-26 TEL 096-367-1252

(診療所) 熊本市花立3丁目3-26 TEL 096-367-4333

生年月日 昭和36年4月5日(33才)

趣 味 スポーツ(ゴルフ、野球)

好きな言葉 “マイペース” です

経 歴 S 62 年 福岡歯科大学卒

S 62 年 八代市上田歯科勤務

H 3 年 12 月 同退職

H 4 年 1 月 福岡歯科大学麻酔学講座(医員)、現在専攻生

H 5 年 3 月 同退職

H 5 年 4 月 合志町伊藤歯科勤務

H 6 年 6 月 同退職

H 6 年 8 月 渡辺歯科クリニック開設

家族構成 妻 : 明子

長男 : 元次 H 6 年 9 月 10 日生まれたばかりです

よろこびの声(在宅診療を受けられた患者・家族のアンケート調査より)

・主人が退院したとき、どうしようかと、とても心配しましたが、先生や訪問看護婦さん、歯の先生や歯科衛生士の方に大変お世話になりました。主人もとても喜んでおりました。おかげ様で、苦しみことなく亡くなりました。家で看病している者にとって、家まで来ていただくのは心強く、私も最後までがんばってこられました。私も年ですのでお世話になると思います、よろしくお願いします。主

人が亡くなった時にはおまいりいただいてありがとうございました。

・往診して義歯を作って頂き、暑い時に数回も来宅、現在食事がおいしく出来て感謝しています。通院をしなければ義歯の製作などはして貰えないと思っていましたので、あきらめていたのですが、こんな制度があるとは老人へのありがたい思いやりです。衷心感謝の至りです。

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
7月20日	第71回理事会（会務、庶務、委員会報告、協議）
8月19日	第72回理事会（同 上）
9月21日	第73回理事会（同 上）
10月19日	第74回理事会（同 上）

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
7月22日	点数早見表の完成検討 県歯への質問事項の検討
8月23日	1.ビデオ研修会（9/20）における社保説明の出務について 2.社保解説シリーズTV（有床義歯）の作製について
9月27日	1.返れいの調査、県への質問事項、審査委員への質問 2.保険診療の手引きシリーズⅣ 義歯について 3.義歯調整A.B.C.について再検討
10月25日	社保解説の原稿書き 保険講演会の反省

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
8月24日(水)	第2回親睦ゴルフ大会について
9月20日(火)	健康診断の反省 第2回親睦ゴルフ大会打ち合わせ
10月11日(火)	第2回親睦ゴルフ大会について
10月25日(火)	第2回親睦ゴルフ大会について 出席者の確認、賞品、ルールの設定

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
8月23日(火)	第17回ビデオ研修会について 学術講演会について 救急蘇生法講演会について
9月13日(火)	第17回ビデオ研修会について 日歯セミナー協力について
10月25日(火)	第18回ビデオ研修会について 学術講演会について 救急蘇生法実習について 今後のビデオ研修、勉強部屋について

口腔衛生委員会

月 日	協 議 題
7月19日(金)	1.検診 2.母親への衛生指導 3.10月の健康フェスティバル テーマ「肥満」への歯科の対応と栄養 4.母親説明用パンフレット作製
8月23日(火)	1.健康フェスティバル出務 2.「かむ子、のびる子、元気な子」コンクールの昼食メニュー 3.健康教育講座 11月7日 4.市会員親睦ゴルフ 11月3日 5.フッ素塗布時の口腔検査について
9月13日(火)	1.衛生士会 体験コーナー やってみよう、聞いてみよう 8020だいじょうぶ? (スタンプラリー) フッ素パネル、フッ素塗布 2.歯科医師会 生涯健診カード300部ハガキ大 来年何人カードを再来してくれるか? 3.技工士会 手型を印象して、石膏模型をつくる 4.フェスティバルで使用した器具の消毒
10月11日(火)	1.健康フェスティバルの打ち合わせ 2.健康講座出務について 3.幼稚園フッ素塗布について

学校歯科委員会

月 日	協 議 題
7月29日(金)	熊本県学校保健協議大会 10/28(金)、10/29(土) ハミガキ巡回指導 10/26(木)、10/27(木)、10/28(金)予定 熊本市健康フェスティバル 10/15(土)、10/16(日) 全国学校保健協議大会 9/29(木)、9/30(金) 第44回九州地区学校保健研究協議大会 8/23 熊本市エイズ講演会 9/2 第5回こどもの健康週間 10/3～10/10 学校歯科検診時におけるミラーの消毒について 外国語対応歯科医院リストについて 幼稚園・保育園の歯科検診料金について 感染防止(AIDS, B型肝炎)に対応するための資料集めについて 撤去冠の日集について 会館建設土地について 熊本県学校保健協議会(玉名市)について ハミガキ巡回指導について
9月2日(金)	
10月7日(金)	

医療管理委員会

月 日	協 議 題
8月26日(金)	1. 最近の医事紛争について 2. 日本歯科麻酔学会よりのアンケート 偶発事故に関する調査
9月10日(土)	3. 代診制度（鹿大、歯、第一口外） 4. 三歯会について
9月30日(金)	1. 代診制度について 発足以来3名の派遣があった 三歯会、技工士会、衛生士会 技工士会 ○時短問題（効率化による1時間短縮をめざす） ○感染問題 衛生士会 ○健康診断を必ず行なって欲しい ○感染対策 ○衛生士と助手に差をつけプライドを
10月26日(木)	次年度より年2回 1. 医事紛争とインフォームドコンセント講演会 2. 報告 ○感染性廃棄物報告書未提出者について ○国保制度推進月間 ○救急蘇生法実習講演会（学術と共同）

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
7月15日(金)	中岳86号編集会議
7月26日(火)	中岳86号編集会議 かわら版8月号編集会議
8月9日(火)	中岳86号第1回校正
8月24日(水)	中岳86号第2回校正 かわら版9月号編集
9月16日(金)	中岳86号反省会 中岳87号企画
9月27日(火)	中岳87号目次作り かわら版10月号編集
10月21日(金)	中岳87号編集会議
10月25日(火)	11月号かわら版編集・校正

～ 協同組合だより ～

今号は、協同組合の事業内容についてご説明いたします。

従来からのレセプト販売、生保・損保集金業務、県火災共済グループ（火災・自動車任意保険）代理店業務、日専連ファイナンス提携カード業務等に加え、昨年度から新たに事務・生活関連用品の販売斡旋を開始し、大幅な値引きの実現でご好評をいただいております。

つぎにご紹介します各商品について、おたずねがございましたら、協同組合事務局までご連絡下さい。

厚生事業

よりよいコミュニケーションをめざして

福利厚生

●ドクターズツアー

提携会社 日専連ツアーズ

広 報

●協同組合ニュース、協同組合だより

お買得商品のご紹介、各種保険のご案内、組合活動などをタイムリーにお知らせする広報紙です。

購買事業

安心できる商品を特別価格でご提供

●歯科材料の共同購入販売

●レセプト、領収書、日計表、経理表、予診録、

検査表、紹介状、等の用紙印刷販売

●鶴屋・熊本岩田屋のクレジット発行と集金業務代行

●デンタルカード（日専連ファイナンス提携）の販売業務代行

●事務用・営業用機器ローンの債務保証

●マイカー購入ローンの紹介斡旋

●DC・VISAゴールドカードの紹介斡旋

●医療機関向け通信販売カタログPLATZの紹介斡旋

●暮らしの商品通信販売カタログフレンドリーの紹介斡旋

●アート・レンタルリースの紹介斡旋

保険業務

生命保険

個人払いでご加入の生命保険は、協同組合団体扱いに変更すれば、保険料が安くなり、大変お得です。もし既にご加入ならば、保険会社名、証券番号をお知らせください。すぐ手続きします。協同組合の団体保険会社はつぎの13社です。

郵便局簡易保険・第一生命・日本生命・住友生命・I N A生命・朝日生命・安田生命・三井生命・千代田生命・東京生命・明治生命・富国生命・アメリカンファミリー保険

熊本県火災共済グループの代理店業務

総合火災共済・自動車事故総合保障共済・自動車事故見舞金共済

損害保険

医療機関をとりまくあらゆる災害に対して、保険が用意されています。

運営対策……診療所休診補償保険・歯科医師賠償責任保険

スタッフ対策……労災総合保険・代診費用保険・従業員休業補償保険

事業主対策……所得補償保険・家族傷害保険・学校総合保険・介護費用保険

レジャー各種……ゴルファー保険・国内海外旅行傷害保険・つり保険

以上、項目の羅列でおわかりにならないと思います。詳細につきましてはパンフレット等をご請求ください。

編集後記

10月から11月にかけて、家族でひさしぶりに「山歩き」をしました。今年の秋は晴天続きで陽気も良く行楽には最適です。それほど高い山ではなく近郊の低山ばかりですが厄年を過ぎた私には充分過ぎるぐらいの運動量でした。以前は子どもを「背負いこ」でおぶって登った山道も、今では子どもの後からふうふう言っつついていく始末。定期的にスポーツでもして体力維持を図らないといかなあかと痛感しました。

今年は雨量が少ないためでしょうか、秋の紅葉が長持ちしているような気がします。また、梨、みかん、柿などの果物も甘みが乗って特別おいしいようです。今はスーパーに行けば一年中オレンジ、グレープフルーツなど輸入物の果物に事欠きませんが、そこはそれ、秋の味覚、旬のものにはかないません。食べ物がおいしいこの季節。適度に汗をかき、温泉にでもつかって、おいしいものでも戴ければ、ああー極楽、極楽なのですが・・・

早いもので今年も年末が近付いて来ました。忘年会の日程がたくさん入っている先生も多いことでしょう。日頃のストレスの発散と英気を養うには良い機会ですが、くれぐれも食べ過ぎ、飲み過ぎ、歌い過ぎには注意しましょう。

(T.H)

熊本市歯科医師会会誌

第 87 号

発行日 平成 6 年 12 月 15 日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井 2 丁目 3 番 6 号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 中 根 俊 吾

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本 2 丁目 1 - 30

TEL 096-356-6433 FAX 096-311-1388